

# Information Point !

パソコンなどのお役立ち情報です！



意外と知られていないお得な情報や  
今ICT業界で話題になっている事をご紹介します！！

## 「RAIDとバックアップ」について -②-

第25回にて、RAIDとバックアップの違いについてご紹介しましたが、RAIDの仕組みが分かり難いため、「RAID=データの保護が出来る仕組み」と認識されている方がまだまだ見受けられます。

「RAIDだから安心」と、バックアップをされていない場合を考慮しまして、ふたたびRAIDとバックアップについてご紹介させていただきます！



### RAIDとバックアップのおさらい

#### 『RAID』

1台の装置の中に複数のハードディスクドライブ(HDD)を搭載し、仮想化する事により**冗長性を向上させる技術**

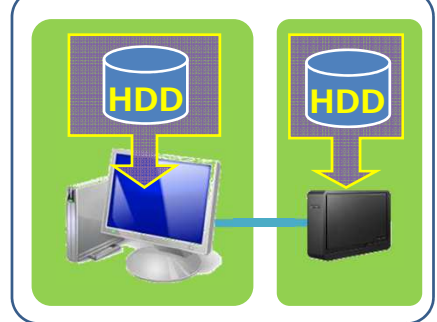
#### 『バックアップ』

1台の装置に別の装置を取り付け同じ**データを保存**しておく事

RAIDの例



バックアップの例



### RAIDはなにが守れるの？

バックアップはデータを直接、自動又は手動でコピーするためイメージし易いと思います。

しかし、RAIDは裏で自動的に動いているためイメージし難いと思います。

そこで、簡単にRAIDにより復旧できる障害例と復旧できない障害例を図式化すると右の様な場合となります。

RAIDは複数のHDDにデータを分散保存する事によりHDDの障害に対応しています。

しかし、何を何処に保存しているかの情報(RAID構成情報)が読み出せなくなるとHDD自体に問題が無くても読書きする事は出来なくなります。

#### 復旧できる障害例

・搭載した複数のHDDの内、一部\*のHDDで障害が発生した場合  
\*構成により台数が異なります

#### 復旧できない障害例

・RAIDの構成を保存している基板の障害が発生した場合  
・RAID構成の論理障害が発生した場合

基板障害や構成情報障害の場合でもデータサルベージ出来る場合がありますが、単体のHDDよりも復旧費用が高額になりがちですし時間もかかります。

どちらが優れていると言う話では無く、それぞれの守備範囲が違うと表現した方が分かり易いかもしれません。

HDD障害についてはRAIDは大変便利な技術ですし、操作ミスやウイルス感染の場合はバックアップでしか対応できません。

それぞれの良さを組み合わせてデータをバッチリ守りましょう！

